

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員を正社員化する。

めざせ、均等待遇

なくそう差別！

ユニオンは労基法裁判に勝利するぞ！

九地本第6回定期大会

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙 「みらい」
NO. 3786
17年9月8日(金)
・Fax 095-828-1953

おはようございます。
数日前より朝晩の暑さが少し和らいできました。しかし日中は、まだまだ厳しい暑さが続きます。この時期は体調を崩しやすいので皆さん体調管理には気をつけましょう。
さて、先日よりマスコミ報道されているように、日本郵便は「ゆうパック」の個人向け基本運賃を来年3月1日より平均12%程度値上げします。既にヤマト運輸、佐川急便も値上げを決めており、人手不足による人件費増の影響が大手3社に及び、足並みを揃えた形になりました。
日本郵便の横山邦男社長は「過重労働や低賃金で社員に犠牲を強いるようでは限界がある」と語っています。この値上げによる増収効果は年間80億円と見込まれています。社長が語るように、業務量の軽減や、賃金アップに繋がるのでしょうか？いや是非繋げて欲しいと思います。今後の動きに注目しましょう。



大会ではまず議案が提案され、また現場での現在の状況が報告されました。そして2017年度の活動方針と財政方針執行体制が決定されました。その中でも「非正規社員の正社員化と均等待遇を求める行動」は大きなテーマであり、現在進行している労働契



先日9月3日、郵政産業労働者ユニオン九州地方本部第6回定期大会が、福岡県労連の会議室において13時から17時まで行なわれました。

約法20条裁判を活用した闘いを行なっています。
参加された代議員からの報告を紹介したいと思います。

第6回定期大会に参加して
2017年9月3日、福岡県連にて、第6回定期大会が開催され、代議員の活発な意見が出されました。まずアシエイト社員のことでありますが契約更新の続きからの緊張からは、解放されましたがスキル評価の賃金の設定や手当もそのままであります。やはり、正社員と全く同じ仕事、そして同じように責任が課されているので同じような待遇が必要だと思えます。すこしでも待遇改善を強く望みます。
次に職場の実態についてです。どこの局でも人員削減のために減区などが行われている状況です。現状はみんな仕事がいっぱいで他の人の応援や様子を見ることができない状況です。どこの局でも毎日欠区、これにより他の人がカバーをしないとイケない状況にあります。定形の郵便やハガキが減っているといつても、定形外、大型郵便やゆうパケットや追跡などが同じ一通でも処理するのに時間がかかる郵便は増えています。さらに小包でもアマゾンやメルカリなど大口が増えて一人あたりの負担がさらに増える



こととなっていきます。これにより昼休みなどの時間に食い込んで作業をし、あまり休憩をとれない状況で作業をしていることになりま、こういった状況では、疲れが残ったりして集中力がきたり、また時間に追われてミスが増えやすくなると思います。落ち着いて仕事ができない状況になっていくのです。やはり適切な実際の作業時間や要員配置、増員などを強く望みます。
このように沢山の職場の不満があるということが各局でもあるということがわかりました。少しでも職場の改善をするために闘っていかねばと思いましたが、郵政ユニオンは明るく楽しくそして郵政で働く全員のために闘っていかねばと思いました。

役職	氏名	所属支店・局
執行委員長	米地 輝高	日本郵便 福岡中央郵便局
副執行委員長	原田 芳博	日本郵便 長崎中央郵便局
書記長	田尻 哲一	日本郵便 福岡中央郵便局
執行委員	松野 浩	日本郵便 北九州中央郵便局
	後藤 靖幸	ゆうちょ銀行福岡貯金事務センター
	浜崎 直樹	日本郵便 長崎中央郵便局
	谷瀬 順治	日本郵便 恵良郵便局
会計監査	山内 みどり	日本郵便 長崎中央郵便局
	本田 昌久	日本郵便 福岡中央郵便局

この様に、代議員や傍聴で参加された皆さん一人ひとりが、この大会で熱い思いや決意を持たれた事だと思えます。各支部や職場に戻られて、その思いを広めていただきたいと思います。
大会議案が満場一致で採択され、選挙により執行委員会の役員も選出されました。後は懇親会です。田尻書記長の名司会で非常に盛り上がりしました。

期間雇用パート労働者の皆さん! 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1 集-山本, 2 集-向井, 3 集-山田, 郵便-高田, ゆうちょ銀-上筋, 東-松岡, 他支部・分会の役員へ。